

5月19日
避難訓練

「自分の命を自分で守る」という気持ちで!



教室で素早く身を守る訓練をしました。

今回は、地震発生を想定した避難訓練を行いました。事前に、学級担任から子どもたちへ過去の地震被害の様子や避難する上で大切なことを指導してもらい、訓練に臨みました。何事もいざという時にしっかりできるためには、普段からしっかりやっていないとなかなかできないものです。今回は、移動を開始してから避難場所に到着して人員確認が終了するまでのタイムが“2分18秒”でした。子どもたちは、避難時の約束

である「お・は・し・も」(ⓐさない・ⓑしらない・ⓒゃべらない・ⓓどらない)をしっかりと守り、真剣な表情で迅速に避難することができました。今月に入ってから、日本各地で大きな地震が頻



各学年代表の子どもたちが感想を発表しました。

発しています。いつ、どこで起こるか予測できない災害に対して、冷静な避難行動がとれるよう、今回のような訓練を通して心構えをしっかりとっておきたいものです。

また、本日5月26日は「県民防災の日」です。防災について、ご家庭でも今一度お子さんと確認していただければ幸いです。



放送の指示に従い、より安全な経路を通して避難しました。

全校
児童

引き渡し訓練

19日(金)の避難訓練終了後に、全校児童を対象にした引き渡し訓練を実施しました。午後2時50分からスタートし、予定していた時間内に全ての児童をご家族のもとに引き渡すことができました。農繁期のご多用の中、ご家族の方々のご協力に感謝申し上げます。



なお、引き渡しの目安は次のとおりです。

引き渡しの目安

- ◆ 震度5弱以上の地震が発生した場合
- ◆ 道路の寸断や停電等で、安全な下校が困難な場合

※ 上記に該当し、引き渡しが必要と判断した場合は、緊急メールでお知らせしますので、ご協力をお願いいたします。



再発見!内小友

～内小友の自然を調べよう～



今週22日(月)、5年生が総合的な学習の時間の授業の一環として、余目地区の自然観察公園に出かけ、ピオトープの観察をしました。「ピオトープ」はドイツで生まれた概念であり、「bio(生命)」と「topos(場所)」というギリシャ語を組み合わせた造語で、「生き物が生息する空間」を指します。当日は、佐々木多一さん(余目いきいき会議協議会)をはじめ、3名の指導者の方々から公園内の樹木を中心



にたくさんのことを学びました。子どもたちは今回の観察を通して、自然環境の大切さを実感したようです。

5月24日
児童総会

令和5年度 児童会テーマ

元気なあいさつ 積極的に夢に向かって笑顔かがやく内小友



今週24日(水)、3～6年生の参加による今年度の児童総会が行われました。高学年の5・6年生にとっては、卒業生から児童会をバトンタッチ

されてから初めての総会になりましたが、事前の準備やリハーサルをしっかりと行い、当日は各委員会の目標や計画などの発表を堂々とすることができました。

はじめに、〇〇〇〇〇さん(6年)から今年度の児童会テーマの発表があり、それを聞いた全校の子どもたち一人一人の表情からは、テーマの実現に向かってみんな頑張っていこうという強い決意が感じられました。

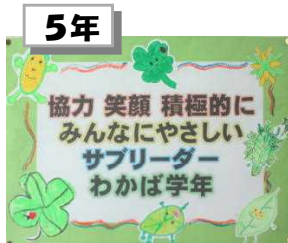
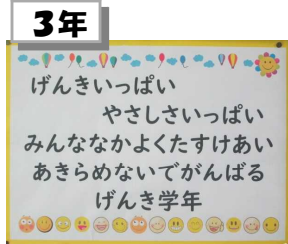
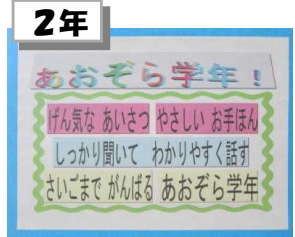
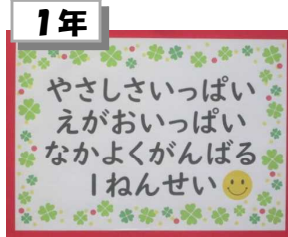


次に、各学年の目標の発表がありました。各学年の目標は右の写真のとおりです。

続いて、各委員会からめあてと活動計画の発表があり、それを受けて、聞いていた子どもたちからは多くの質問や要望が出されました。どれも皆、内小をもっと良くしたいという思いが強く感じられるものばかりでした。中には、委員会に対する温かい激励メッセージを伝える児童もいて、微笑ましい光景が見られました。



児童会活動は、子どもたちの自主的な活動意欲を高めることや、友だちや周囲の人々との良好な関係をつくることを目的としています。1年間の児童会活動を通して、子どもたちにそのような力が身に付くよう支援していきたいと思います。



各委員会のめあて

<内小っ子委員会>

・元気よく 積極的な行動で
全校みんなを笑顔にしよう。

<内小友放送局委員会>

・ゆっくりはきはき
明るい声でていねいに
聞きごたえのある放送をとどけよう。

<健康第一委員会>

・全校のみんなの健康のためにしんけん
責任をもって明るく活動する。

<わくわくブック委員会>

・やさしく笑顔で仕事に取り組み、
全校のみんなに
本を好きになってもらおう。

始動! 内小ランニング・スターズ



6月3日(土)に県営陸上競技場(秋田市雄和)で開催される「第32回大仙・仙北小学生陸上競技大会(兼秋田県少年少女陸上競技大会予選会)」に向けて、「内小ランニング・スターズ」の活動がスタートしました。

今年度は〇〇〇〇さん(4年)と〇〇〇〇さん(4年)の2名が出場を希望し、練習では現時点での自己の記録を取り、目標設定をしました。

練習に向かう二人の眼差しは真剣そのもの。大会への意気込みを強く感じました。陸上競技は「自己との闘い」でもあります。大会までに二人の記録がどこまで伸びるのか大いに楽しみです。

